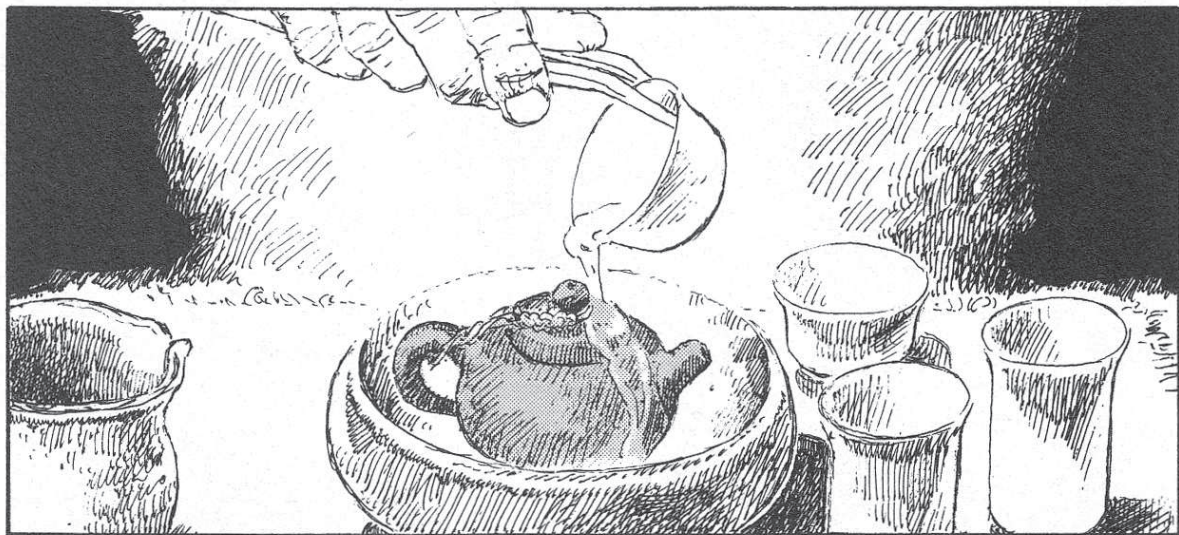
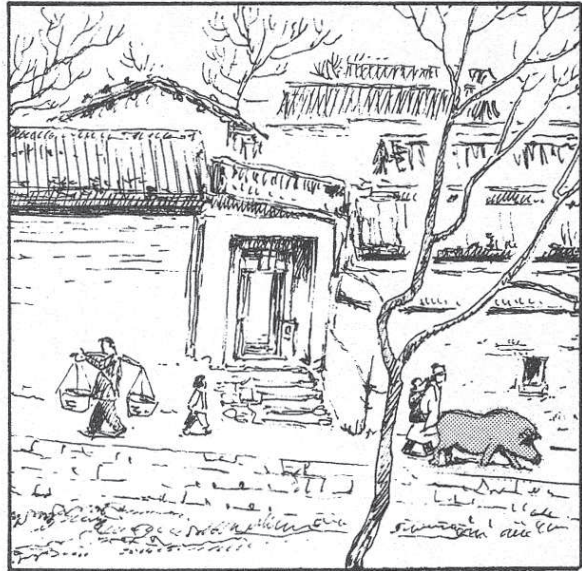
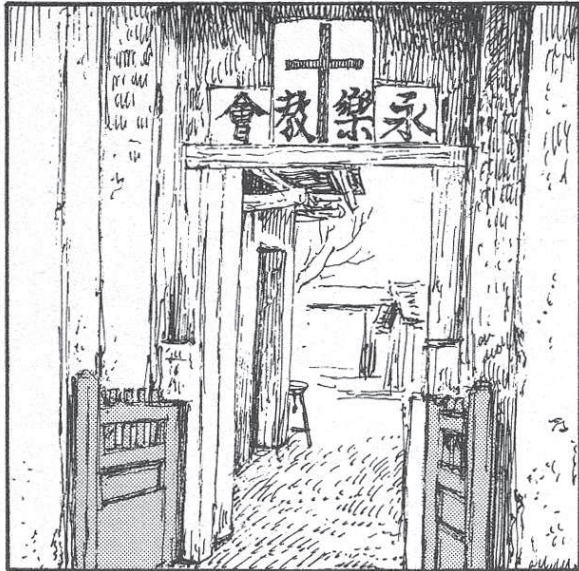




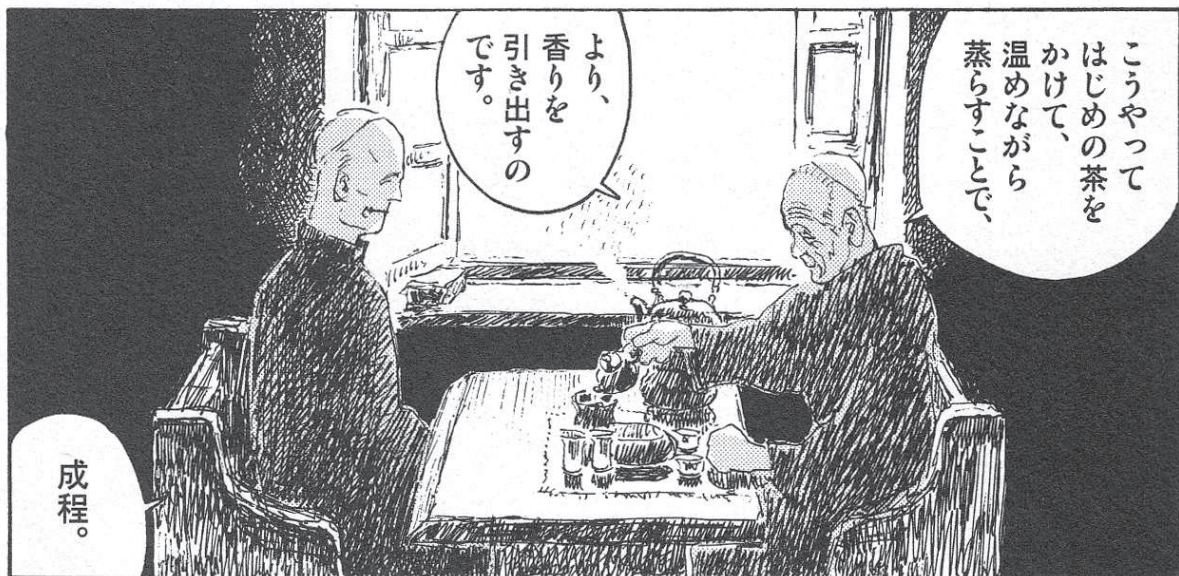
女魔鳥騎

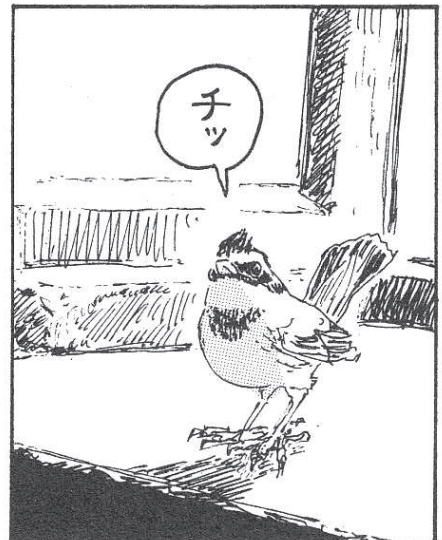
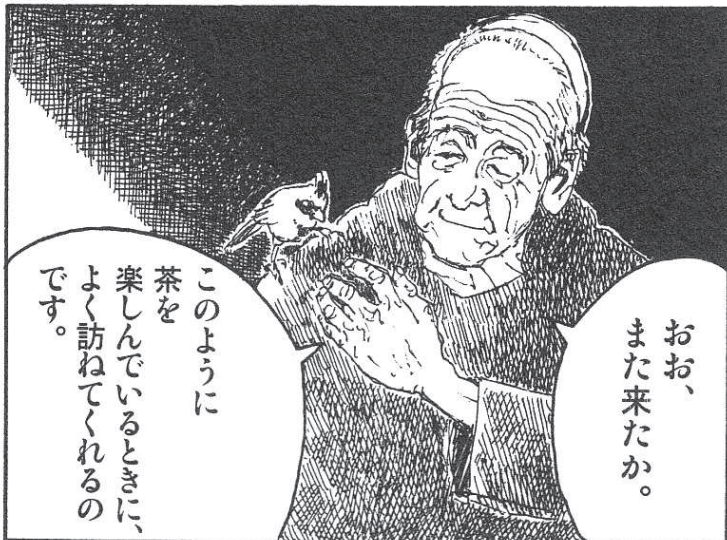
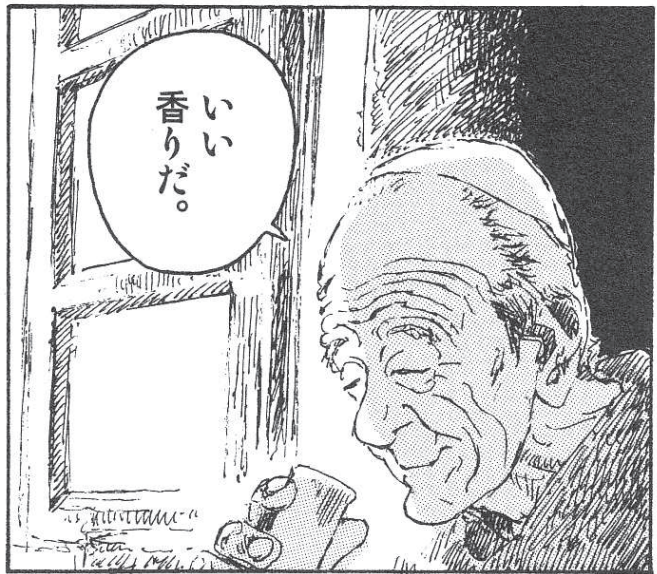
ナ マコ トリ





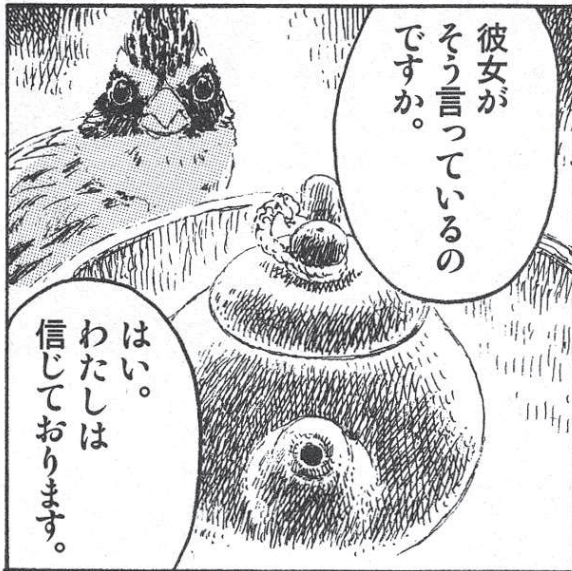
2





3





彼女が
そう言っているの
ですか。

はい。
わたしは
信じております。



はい。
亡くなった妹が
魔女となって、
様々な事を
教えに
戻してくれるのです。



……
石が降ってくるよ。

今日は、
彼女は
何か？

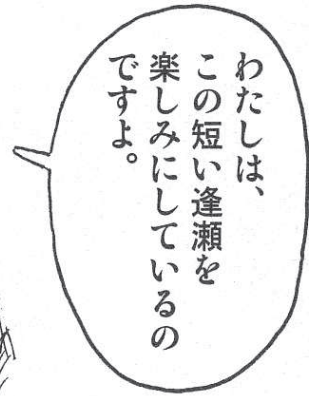
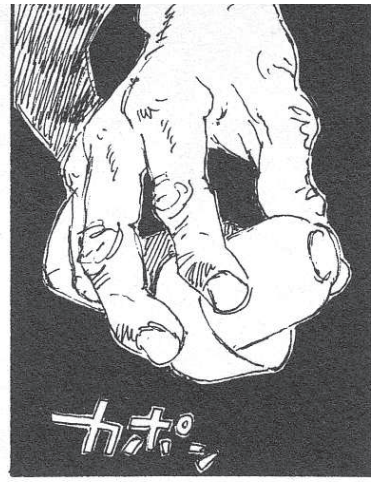
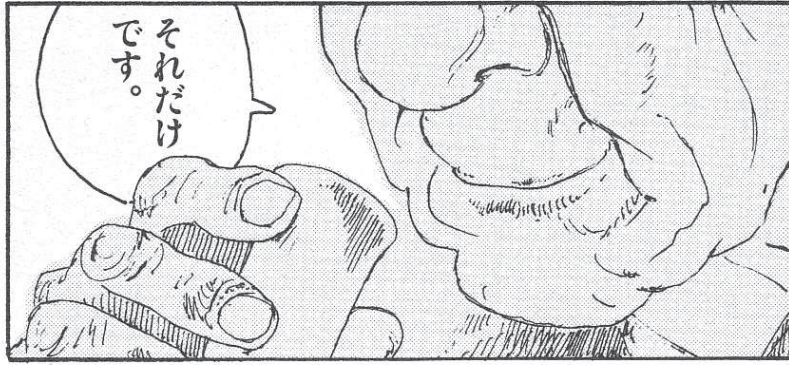
4



それだけ
ですか。



大きな力のある
石だそうです。





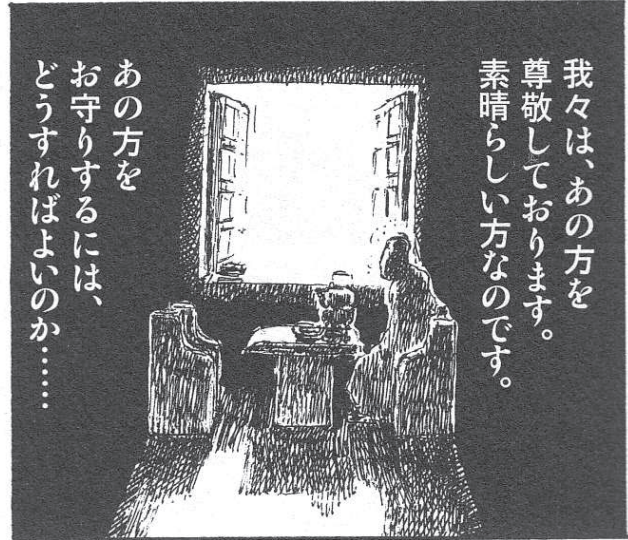
あの方は、
誰にでも
別け隔てなく
お話なさいます
もので……

その…
お恥ずかしい話ですが、
あの方の人望を
妬む向きもあって、
悪魔が取り憑いた
などという噂を
……



それで思い切って
手紙を出したのです。

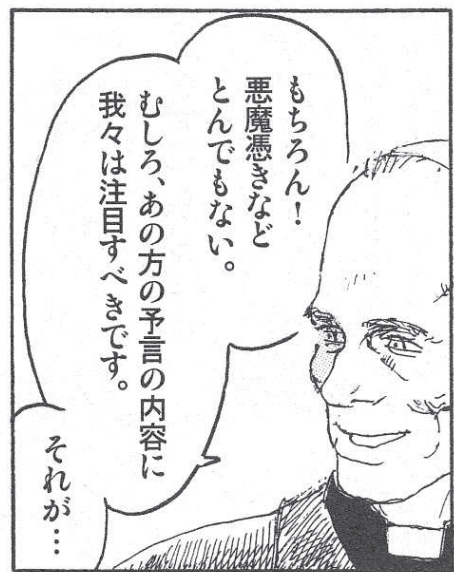
まさか、
こんな僻地に
直接おいで
くださるとは……



我々は、あの方を
尊敬しております。
素晴らしい方なのです。

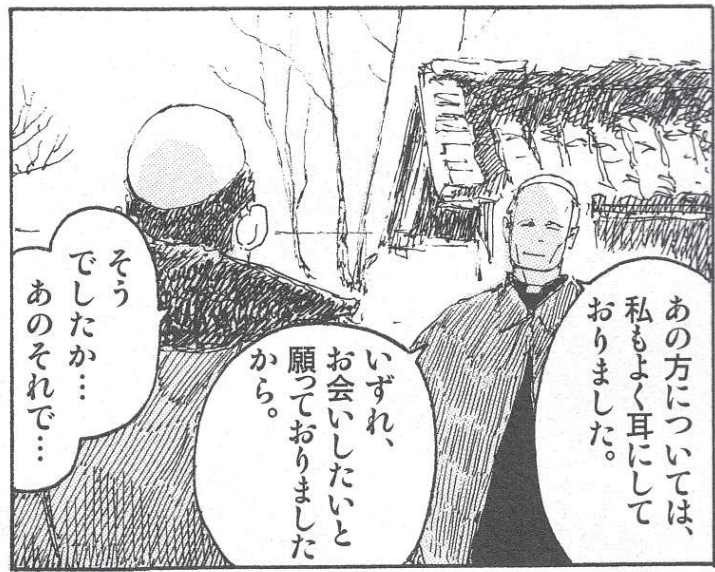
あの方を
お守りするには、
どうすればよいのか……

6



もちろん！
悪魔憑きなど
とんでもない。
むしろ、あの方の予言の内容に
我々は注目すべきです。

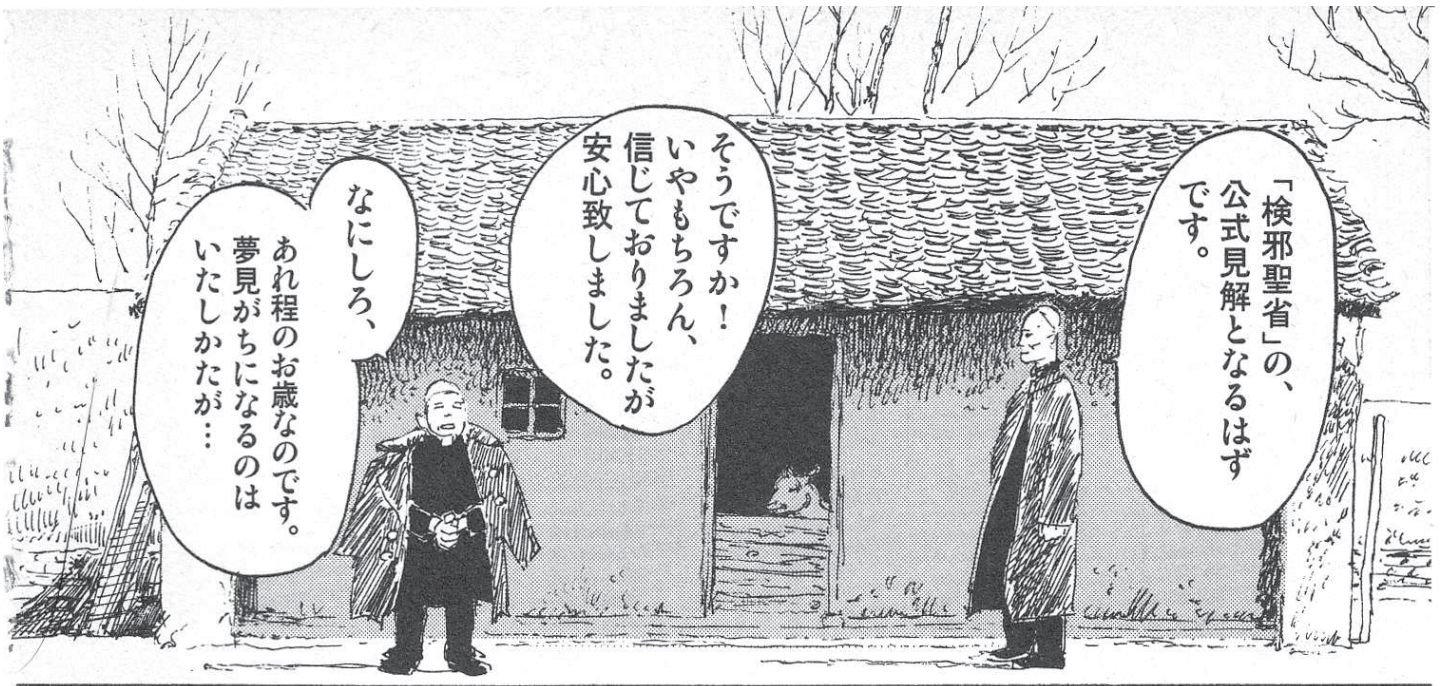
それが……



あの方については、
私もよく耳にして
おりました。

いずれ、
お会いしたいと
願っておりました
から。

そう
でしたか…
あのそれで……



「検邪聖省」の、
公式見解となるはず
です。

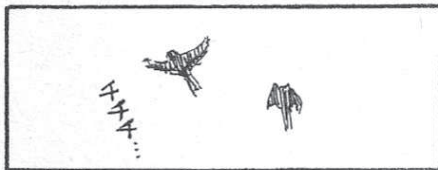
そうですか！
いやもちろん、
信じておりましたが
安心致しました。

なにしろ、

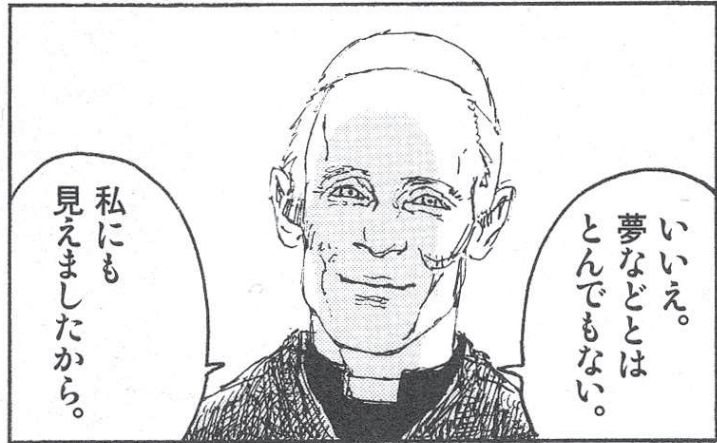
あれ程のお歳なのです。
夢見がちになるのは
いたしかたが：



え。



キキキ...



いいえ。
夢などは
とんでもない。

私にも
見えましたから。

7



鳥に跨る魔女が。